

東浦町立藤江小学校 環境教育への取組

1 はじめに（ユネスコスクールとして）

本校は平成26年4月ユネスコスクールに加盟した。環境、伝統文化、国際理解を3つの柱とし、日々の活動にESDの視点を取り入れながら、教育実践をしている。

環境教育については、6年前より継続して竹林や野鳥保護区に指定されている学校周辺の自然環境を生かす活動を中心に実施している。また、平成21年に野生生物保護モデル校に指定されたことで、2年生生活科、5年生総合的な学習のカリキュラムの中に野鳥観察、生き物観察の学習を位置づけている。平成23年からは、愛知県野鳥生物保護発表大会にて本校が推進する取組や成果について毎年発表している。また、野鳥の定点観察を行い、藤江地区にどんな野鳥がやってきて、どんな餌を好むかをメインテーマとして活動している。

2 平成26年度の取組

○校内にある竹林を生かした取組

3年生を中心に、竹林に囲まれているという地域の環境を生かし、竹や竹炭を有効利用した環境保護活動にも取り組み、自分から進んで自然との共生を図ろうとする態度の育成を図ってきた。総合的な学習では「竹ってすごい」をテーマに、4月には校内にある竹林でのタケノコ掘りにはじまり、6月には竹を使った道具づくり、2学期にはエコ委員会を中心に、地域の竹炭同好会に協力を依頼しての竹炭づくり体験など、地域の環境を生かした環境学習を展開している。



【タケノコ掘り】

○ビオトープ観察

土曜講座（サテラー・スペシャルスクール）のひとつの講座として、希望者（保護者を含む）を募り、ビオトープの清掃を兼ねて、児童に水生生物やその環境に関心をもたせる会を開催した。地域の自然観察指導員の協力を得て、ビオトープの水を抜き、捕らえた生き物（メダカやカエルなど）を透明の水槽に移してその生き物の名前や生態などの説明を行った。

また2年生の生活科では、校内ビオトープを利用した観察会を行った。カエルやヤゴなどの水辺の生き物や植物を観察し直接触れることでより効果的な環境教育を展開している。

○野鳥観察

特に野生生物保護モデル校として、野鳥観察やその環境保護の活動には力を入れている。26年度も愛知県自然観察指導員の協力を得ながら、5年生総合的な学習の時間を中心に、学期に1回ずつの計3回の藤江地区の野鳥観察会を行った。26年度は、鳥の巣箱づくりをとおして野鳥に適した環境について学習した。

夏休みには、愛知県野生生物保護実績発表大会に参加して、25年度の活動成果を発表した。

その他、環境保護活動を地域にも広める活動として、1月にも土曜講座を利用した親子野鳥観察会を開催し、ユネスコスクールとしてESDの考え方を保護者・地域へも発信する取組を行った。



【野鳥観察 5年】

○植物の栽培（緑のカーテンなど）

各学年それぞれ教育課程に準じて植物の栽培を行った。例えば1年生においては、各児童一人1鉢アサガオの栽培に取り組んだ。児童は自分の鉢植えに水をやるなど大切に育てて、大きな花が咲いたことにとっても喜んでいる姿が見られた。

また2年生においては、1学期より、トマト・ナス・ピーマンの栽培をはじめ校内の学級菜園を利用したのさつま芋の栽培・収穫を年間とおして行った。

特別支援学級においても、専用の学級菜園を準備し、ミニトマトやナスなどの野菜を栽培し、生活単元の学習を行った。秋にはその野菜を使った野菜パーティーを開催した。

学校全体の取組としては、担当職員を中心に毎年夏場にかけてヘチマ・ヒョウタンなどツルのある植物を育てて「緑のカーテン」作りを行った。4年生の学習や地球環境・地球温暖化など環境問題を考えるきっかけにも役立っている。



【緑のカーテン】

3 平成27年度の取組

平成26年度の取組の継続をベースとして、27年度の取組を実践していく。

27年度の新たな取組としては、まず本校の現職教育のテーマを「自ら課題を見つけ 探究する児童 ～E S Dの視点を取り入れた教育活動を通して～」と題して、環境教育を含めたE S D活動の推進に変更した。藤江小学校が今まで培ってきたコミュニケーション能力を生かしながら、将来持続可能な社会を実現する担い手になる児童を育成していく。

具体的には、目指す児童を「客観的な情報に基づいて思考・判断し、多面的、総合的に考えることができる児童」「他者の気持ちや考えを尊重し、協力・協同して学習を進めようとする児童」「人・社会・自然とのつながりを大切にし、自分の役割を理解してものごとに主体的に参加しようとする児童」とし、その育成を目指しながら、環境教育についても実践していく。

また、今年度の新たな取組としては、土曜講座で「親子タケノコ掘り」を企画した。4月某日に希望者を募って校内の竹林で実施した。応募者多数で参加者を抽選で決めなければならないほどの好評で、親子で協力してたけのこを掘る微笑ましい姿があちこちで見られる会となった。会後の感想では、「親子でとても良い時間が過ごせた」「来年度も是非やってほしい」という声が多く聞かれた。

3年生では今までの竹・竹炭学習に加え、地域の方に協力をお願いして、竹のお椀と箸を製作し、それを使っての流しそうめん大会を計画している。

以上、これからも藤江小学校の今まで取り組んできたことをベースにしながら、学校の活性化を目指した特色ある学校作りをユネスコスクール加盟校として推進しく。そして、今まで以上にE S D活動を通じた環境学習に取り組んでいきたい。